

修了にあたって

少子高齢化、知識基盤社会化、グローバル化が急速に進む中で、日本の社会にとってこれまで以上に変化の激しい時代が到来することが予想されています。それに伴い、未来を担う子どもたちを育てる教育への期待は一層高まっています。

平成20年3月には学習指導要領が改訂されました。教育基本法改正等で明確となった理念を踏まえた「生きる力」の育成、知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成のバランスの重視、そして豊かな心や健やかな体の育成を基本的な考え方として、新たな教育内容が明示されました。平成21年度からは、移行措置として一部が先行実施されます。各学校には、創意工夫を生かした特色ある教育課程の編成・実施が期待されています。

このような状況の中、長期研修員として静岡県総合教育センターに派遣された私たち9名は、研修研究部教職研修課（3名）、研修研究部情報教育研修課（2名）、研修研究部カリキュラム開発課（2名）、教育支援部教育相談課（1名）、生涯学習推進センター（1名）に分かれ、研修を深めました。

私たちの研修は今日的な教育課題を把握することから始まりました。中央教育審議会答申「教育振興基本計画について～「教育立国」の実現に向けて～」や静岡県教育計画「「人づくり」2010プラン後期計画」等を基に、国や県の目指す教育の姿と実際の教育現場の姿を比較し、課題を明らかにしました。そして各々が所属する各課・センターの視点から研究主題を設定し、その課題解決に向けて研究を進め、ここに「平成20年度長期研修研究報告書」としてまとめました。本冊子が、読んでいただく方にとって、少しでもお役に立つものとなればこの上ない喜びです。今後も、教育課題の解決と新しい時代を切りひらく心豊かでたくましい子どもたちの育成を目指し、努力していきたいと考えています。

私たちは、この1年間、静岡県総合教育センターの恵まれた環境の中で充実した研修を行うことができました。日々の研修においては、センターで実施された研修会や今日的な教育課題を取り上げた各界の有識者による講演会に参加させていただき、教員としての見識を深め、視野を広げることができました。

また、所員の方々から頂いた数々の助言と、教育や子どもたちの未来についてともに考え語り合った仲間の存在は、研究を進めていく上で大きな励みになると同時に、心の支えにもなりました。今後は微力ではありますが、ここで得た研修成果を学校や地域で生かし、静岡県の教育の発展に寄与していきたいと思えます。

最後になりましたが、貴重な研修の機会を与えてくださった静岡県教育委員会並びに各教育関係機関に感謝するとともに、私たちの研究に御協力いただいた学校、専門機関及び所属校の校長や諸先生方、そして所長・副所長はじめ所員の方々に心よりお礼を申し上げます。

平成21年3月

平成20年度長期研修員一同